

総務部防災安全課

1 非常備消防関係

(1) 消防団

ア 団員異動状況（令和8年3月31日現在）

分 団 数	団 員 数			定 員
	入 団	退 団	現 員	
28 分 団	23 人	42 人	459 人	544 人

イ 行事

随時 防火・防災予防広報（自治会、イベント等）

ウ 消防団員教育訓練

鳥取県消防学校入校によるもの

- a 4月19日～20日 基礎教育（第78期）
- b 5月10日～11日 消防操法指導科（第48期）
- c 9月6日 機関科（60期）
- d 10月4日 警防科（54期）
- e 8月4日・5日・6日
12月6日・7日・14日 } 応急手当普及員養成講習
- f 3月14日・15日 応急手当指導員養成講習

エ 報酬

（単位：円）

階 級 区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年額報酬	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
機関員手当	消防ポンプ自動車機関員報酬年額 13,300 小型動力ポンプ付き積載車機関員報酬年額 7,800						
出勤報酬	出場、訓練、警戒等 1回につき 2,800						

オ 表彰等（主なもの）

表 彰 等 の 種 類		階 級	氏 名
消防庁長官表彰	永年勤続功労章	分団長	相野 幸治
		分団長	森田 学
		分団長	深田 誠二
		分団長	田中 剛
日本消防協会長表彰	精績章	分団長	山尾 孝範
		分団長	森田 学

表 彰 等 の 種 類		階 級	氏 名
日本消防協会会長表彰	勤続章	分団長	深田 誠二
		副分団長	金田 慎一
		部長	田村 光徳
		班長	福長 正樹
		班長	宮下 孝志
		班長	中西 実
		機能別	石井 浩一
鳥取県知事表彰	功労章	分団長	相野 幸治
		分団長	深田 誠二
		副分団長	河津 幹夫
	功績章	副分団長	大谷 英範
		部長	松林 琢磨
		班長	角 茂幸
		班長	木村 一彦
		班長	手島 寛治
		班長	森高 好行
		団員	河津 吉晴
		団員	阿部 紀明
		団員	中村 政広
		団員	石田 正実
鳥取県消防協会会長表彰	功績賞	副分団長	鷺見 宏樹
		副分団長	長谷川 英信
		部長	秋田 信也
		部長	河崎 禎之
		班長	手島 寛治
		班長	山根 滋
		班長	江原 暁典
		班長	坪倉 和宏
		班長	田原 弘之
		班長	安田 直
		班長	堀 博之
		班長	妹尾 亮
	功労賞	分団長	森田 学
		機能別	長谷川 尚秀
	勤続賞	副分団長	鷺見 宏樹
		副分団長	長谷川 英信
		部長	秋田 信也
		部長	河崎 禎之
		部長	長谷川 智久
		部長	池本 翼
鳥取県消防協会会長表彰	勤続賞	部長	虎谷 太司
		部長	

表 彰 等 の 種 類		階 級	氏 名
鳥取県消防協会会長表彰	勤続賞	班長	堀 博之
		班長	妹尾 亮
		班長	矢倉 宏一
		団員	野坂 道明

(2) 消防施設関係

ア 消防水利施設整備

火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うため、上水道消火栓の増設、補修を行った。

(ｱ) 上水道消火栓増設

(ｲ) 上水道消火栓補修

イ 消防団施設等整備

米子市消防団福米東分団車庫・大高分団車庫の建替えを行った。

ウ 消防車両等整備

米子市消防団に配備している消防ポンプ自動車のうち、老朽化の著しい車両について、新規購入し更新した。

(ｱ) 更新車両

米子市消防団夜見分団に配備されている車両。

(ｲ) 規格（型式） ＣＤ－１型消防ポンプ自動車、Ａ－２級

2 防災関係

(1) 県内統一土砂災害防災訓練

県と連携した土砂災害に係る情報伝達訓練を実施した。

ア 実施日 令和７年５月３０日（金）

イ 実施場所 防災安全課

ウ 参加者 防災安全課職員

(2) 米子市防災訓練（総合防災訓練及び福祉避難所開設訓練）

鳥取県総合防災訓練（県防災フェスティバル）の一環として、消防ほか各機関と協力し、支援物資搬送訓練、倒壊家屋搬出訓練、多重衝突事故搬出訓練及び福祉保健部と連携し、搬出後から市独自の福祉避難所開設訓練に展開実施した。

ア 実施日 令和７年９月２０日（土）

イ 実施場所 ウインズ米子、弓浜ホスピタウン

ウ 参加者 関係市職員、河内長野市職員（災害協定市）、陸上自衛隊、米子警察署、米子消防署、隊友会、米子市消防団、自主防災組織等

(3) 米子市役所防災訓練

鳥取県西部地震から２５年目の節目である当該地震発生日である１０月６日に職員を対象とした地震想定訓練（参集訓練及び地震から身を守る訓練）を実施した。

ア 実施日 令和７年１０月６日（月）

イ 実施場所 通勤経路及び米子市役所各施設

ウ 参加者 全職員対象

(4) 防災ラジオ事業

令和２年度調達に係る防災ラジオ放送受信機の在庫及び追加調達により貸与事業を継続した。
防災ラジオ放送受信機の貸与状況

〈令和８年３月３１日時点〉

区分	貸与先	貸与台数
有償	一般世帯（優先的貸与）	142
	一般世帯（一般貸与）	2,972
	事業所及び自治会	740
無償	自治会（又は自主防災組織）	415
	消防団	33
	公民館（戸別受信機未設置）	20
	指定避難所等	131
	地区社会福祉協議会の代表者	29
	在宅福祉員の地区代表者	29
	経済的に困窮する視覚障がい者（１級・２級）	138
合 計		4,649

(5) 災害時協力協定の締結

締結日	相手方	協定名
R7. 5. 12	王子コンテナ 株式会社兵庫工場	災害時における段ボール製簡易ベッド等の優先供給に関する協定
R7. 5. 20	鳥取県飲食生活衛生同業組合	災害時におけるキッチンカーによる物資の供給等に関する協定
R7. 6. 27	有限会社 福本興業	災害時における応援業務等に関する協定
R7. 7. 30	有限会社 倉光	災害時における物資の提供に関する協定
R7. 7. 30	株式会社 LABO	災害時における応援業務等に関する協定
R7. 8. 8	一般社団法人 鳥取県薬剤師会西部支部	災害時における薬剤師の医療救護活動等に関する協定
R7. 8. 22	永伸商事 株式会社	災害時における飲料水の供給に関する協定
R8. 3. 17	鳥取県石油協同組合 西部支部	災害時における燃料供給に関する協定
R8. 3. 18	株式会社 大翔	災害時における応援業務等に関する協定

3 災害関係

(1) ６月２６日 大雨

- ・大雨（浸水害）
- ・米子市災害警戒本部設置（同日解除）
- ・被害状況 人的被害なし
- その他 停電、市道(アンダーパス)で一時通行止め

(2) ８月７日 大雨

- ・水防警報（準備）
- ・米子市災害警戒本部設置（同日解除）
- ・被害状況 人的被害なし
- その他 市道で道路冠水発生、消防団による排水作業を実施

- (3) 1月6日 地震 震度5弱（島根県東部を震源とする地震）
- ・米子市災害対策本部設置（1月8日に警戒本部に移行）
 - ・自主避難所29公民館開設（最大避難者数39名、同日避難者0名のため閉鎖）
 - ・被害状況 人的被害なし、建物の損傷多数、液状化の発生
 - その他 鳥取県被災者住宅再建等支援制度に係る指定災害に指定
- 1月21日から罹災証明書の受付を開始
- (4) 2月8～9日 大雪
- ・大雪警報
 - ・米子市災害警戒本部設置
 - ・被害状況 人的被害なし
 - その他 公共交通運休（バス）、市道降雪により孤立の住宅発生（2月10日解消）

4 防犯対策関係

米子市防犯協議会総会

令和7年7月15日 米子市立図書館多目的研修室で開催

会 長	近 藤 豊	（米子市自治連合会長）
副 会 長	角 田 和 久	（米子市自治連合会副会長）
〃	辻 敏 郎	（米子市社会福祉協議会長）
〃	田 貝 太樹也	（米子市中学校長会）

5 水難事故防止対策関係

(1) 米子市水難防止協議会総会

令和7年6月6日 米子市立図書館多目的研修室で開催

会 長	伊 木 隆 司	（米子市長）
副 会 長	近 藤 豊	（米子市自治連合会長）

(2) 広報用チラシの配布

広報用チラシを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園に人数分配布した。

6 原子力防災関係

(1) 防災訓練の実施

万が一島根原子力発電所において緊急事態が発生した場合に、住民避難を迅速かつ的確に実施し、住民の生命、身体等を保護する目的で、鳥取県、島根県、島根原発関係市及び関係機関と合同で、原子力発電所事故の通報を受けた後の対応訓練を実施した。

ア 初動対応訓練

(ア) 実施日 令和7年12月24日（水）

(イ) 実施場所 市役所本庁舎

(ウ) 参加者 市長、関係幹部

イ 住民避難訓練

(ア) 実施日 令和7年11月9日（日）

(イ) 実施場所 大篠津地区、名和農業者トレーニングセンター、県立農業大学校

(ウ) 参加者 住民５２人

ウ 原子力防災講座

(ア) 実施日 令和７年９月７日(日)、令和７年１０月５日(日)

(イ) 実施場所 大篠津公民館 ２階集会室

(ウ) 講師 MRI エムアールアイリサーチアソシエイツ

(エ) 参加者 大篠津地区住民等

エ 船舶を利用した避難訓練

(ア) 実施日 令和７年１１月８日(土)

(イ) 実施場所 境港竹内岸壁

(2) 原子力防災講演会の開催

ア 第１回原子力防災専門研修

(ア) 開催日 令和７年１０月３１日(金)

(イ) 会場 国際ファミリープラザ ３階 会議室Ｂ

(ウ) 講師 原子力規制庁 原子力規制部高経年化審査部門
企画調整官 田中 裕文 氏

(エ) 講演 原子力工学「高経年劣化対策（経年劣化の仕組みとその対応）について」

イ 第２回原子力防災専門研修

(ア) 開催日 令和７年１２月１日(月)

(イ) 会場 国際ファミリープラザ ３階 会議室Ｂ

(ウ) 講師 長崎大学 原爆後障害医療研究所
教授 高村 昇 氏

(エ) 講演 放射線安全学「放射線被ばくと健康影響」

ウ 第３回原子力防災専門研修

(ア) 開催日 令和８年２月３日(火)

(イ) 会場 国際ファミリープラザ ３階 会議室Ａ

(ウ) 講師 元・原子力規制委員会委員
伴 信彦 氏

(エ) 講演 「屋内退避検討チーム報告書の解説」

7 国民保護関係

(1) 鳥取県国民保護共同図上訓練

鳥取県が実施する図上訓練に統制側として支援するとともに、鳥取県庁において実地に訓練を視察した。

ア 実施日 令和８年２月２日(月)

イ 場所 米子市役所本庁舎及び鳥取県庁

ウ 参加者 職員３人

(2) 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練

鳥取県の支援を受け、座学教育及び弾道ミサイル飛来を想定した来庁者の避難誘導や身体防護を訓練した。

ア 実施日 令和８年２月１８日(水)

イ 場所 ふれあいの里

ウ 参加者 職員５０人